

・医師が記入する意見書が必要な感染症

感染症名	主な症状	登園の目安
麻疹(はしか)	初めの2～3日は風邪症状や発熱 その後、高熱や発疹が広がる	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	発熱、全身倦怠感、関節や筋肉痛、咽頭痛等	発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日経過していること
新型コロナウイルス感染症	発熱、全身倦怠感、咽頭痛、咳、味覚障害等	発症後5日を経過し、かつ症状軽快後1日を経過していること
風疹	発熱と同時に発疹、リンパ節腫脹	発疹が消失していること
水痘(みずぼうそう)	腹部や背部から全身に広がる丘疹が、水疱・痂皮へと変化する	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫れ、発熱	腫れが出現してから5日が経過し、かつ全身状態が普段通り良好であること
結核	咳、発熱、全身倦怠感	医師により感染の恐れがないと判断されること
アデノウイルス感染症 ・咽頭結膜熱(プール熱) ・流行性角結膜熱 など	・咽頭結膜熱(プール熱) 発熱、咽頭痛、眼球充血、眼脂 ・流行性角結膜熱 眼球充血、瞼の腫れ、眼脂	・咽頭結膜熱(プール熱) 発熱や充血等の主症状が消失した後2日経過していること ・流行性角結膜熱 結膜炎の症状が消失していること
百日咳	風邪様の咳から発作性の咳込みを反復する	特有の咳が消失していること、又は適正な抗菌薬による治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111 等)	水溶性下痢、血便、腹痛、発熱	医師により感染の恐れがないと判断されること
急性出血性結膜炎	流涙、眼球充血、瞼の腫れ	医師により感染の恐れがないと判断されること
侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)	高熱、頭痛、吐き気、頸部硬直(首が硬い)、精神症状	医師により感染の恐れがないと判断されること

・医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症 感染症と診断された際には、必ず園までご連絡ください。

感染症名	主な症状	登園の目安
溶連菌感染症	発熱、咽頭痛、いちご舌、全身の発疹	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	頑固で長期にわたる咳、発熱	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足口に丘疹、水疱、口腔内疹、口腔内痛	解熱後24時間が経過し、発疹が乾燥していること、 且つ普段通り食事が摂れること
伝染性紅斑(りんご病)	発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛があり、その後両頬部に発疹や腫れ、腕や太もも、体全体に編み模様の発疹の出現	発熱等の症状が治まり、全身状態が普段通りであること
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス等)	下痢、嘔吐、腹痛、発熱	下痢・嘔吐の症状が治まり、普段通り食事が摂れること
ヘルパンギーナ	発熱、咽頭痛、咽頭に水疱	発熱や口腔内の水疱等の影響がなく、普段通り食事が摂れること
RSウイルス感染症	発熱、咳、鼻水	呼吸器症状が消失、全身状態が普段通りであること
帯状疱疹	軽度の痛みや違和感があり、その後多数の水疱が集まり、紅斑がみられる	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること
突発性発疹	発熱が2～4日程続き、解熱後に発疹が出現	解熱し機嫌がよく、全身状態が普段通りであること
頭ジラミ症	頭髮に虫・卵が付着、頭のかゆみ	駆除に努めながら登園可能
伝染性膿痂疹(とびひ)	皮膚に水疱ができ、破れてびらんをつくる	確実にガーゼで覆い、感染を防ぎ登園可能